

〔科目名〕 事業論 I	〔単位数〕 1 単位	〔科目区分〕 キャリア教育科目
〔担当者〕 竹内 紀人 Takeuchi Norito	〔オフィス・アワー〕 時間: } 非常勤、特定の研究室はありません。 場所: } 相談・質問には都度対応します。	〔授業の方法〕 講義
〔科目の概要〕 <p>地元地方銀行で 30 数年間、金融実務に携わった講師が、地元企業の事業展開を理解するための基本的事項について、解説します。</p> <p>講師は銀行退職後も、銀行系シンクタンクやコンサルティング会社で活動してきました。地域の経済・産業に関する研究実績と地方銀行での実務経験をもとに、地方における「事業」を論じる点が、本科目の最大の特徴です。</p> <p>青森県を中心とした「地域」をベースに、社会経済を支えるさまざまな「事業者」と、彼らの事業をいろいろな側面からサポートしている「地域金融機関」との関係性に着目した講義です。</p> <p>科目区分は「キャリア教育科目」で、選択必修科目のひとつです。事業経営に関する専門知識を得る講義ではありません。また、起業家を育成する講座でもありません。あくまで、キャリア系の基礎講座と捉えてください。</p>		
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつか〕 <p>本科目は地域経済、金融、会計など、他のさまざまな科目と関連します。</p> <p>しかし、これまで何を学んできたか、現在、どれだけの専門知識を持っているかは問いません。大学で学ぶさまざまな知識や理論を、現実の社会と結びつけて考えられるようになるための基礎講座です。</p> <p>皆さんが将来どの分野で活躍するにしろ、社会人として求められるものは、現場で、必要な情報を分析・判断し、業務に応用していく力、新たな試みを展開していく力です。そうした力を育むためには、たとえ一部でも、リアルなお金の話と切り離せない経済の実態を知ることが有益です。</p> <p>本講座には、地域経済圏における地方銀行の活動と、それに支えられている中小企業のリアルな事例を話題にする場面がいくつか出てきます。したがって、地域金融の業界研究にも役立つほか、資金調達の話などから、現実的な感性を身につけることにも役立ちます。</p>		
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 <p>キャリア教育科目としての到達目標は、現実の社会におけるさまざまな経済活動について、自力で情報を収集し、課題を整理していく基礎能力を身に着けることです。ここで言う基礎能力とは、今後、大学で学んでいく専門知識や理論を、具体的な課題解決に結びつけるための、基礎的な知識力や思考能力を指します。</p>		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 <p>過去の授業評価では、「わかりやすい」、「面白い」、「聞き取りやすい」という評価の一方で、少数ながら、「難しい」、「専門用語がわかりにくい」などの指摘もありました。そうした意見を真摯に受け止め、よりわかりやすい説明を心がけていきます。</p> <p>また、過去6年間にわたり、本科目を継続してきた経験を生かし、総合的なボリュームや内容は「欲張らず、7回の講義で無理なく伝えきる」方針のもと、毎年見直しを図っています。</p>		
〔教科書〕 <p>特になし。基本的に、都度、講師が資料を準備します。</p>		
〔指定図書〕 <p>『なぜローカル経済から日本は甦るのか G と L の経済成長戦略』(富山和彦 PHP 新書 2014/6)</p>		
〔参考書〕 <p>特になし。</p>		

〔前提科目〕	
なし。	
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等)	
<p>中間で講義内容に関するリアクションペーパーを求めます。 期末テストを実施し、評価します。(マークシート＋一部記述)</p>	
〔評価の基準及びスケール〕	
<p>リアクションペーパー10%、期末テスト90%で評価します。 評価スケールは大学のスタンダードによります。</p>	
〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕	
<p>本科目の担当は7カ年目となります。これまで同様、キャリア科目としての趣旨を踏まえつつ、金融部門の実務経験を有する非常勤講師として、実社会の具体性を盛り込んだ授業を心がけていきます。 1 単位7回の短い講義ですが、1 回ごとの講義の積み重ねで最終目標に到達する組み立てをしています。極力欠席をしないよう心がけてください。</p>	
〔実務経歴〕	
<p>銀行業および銀行関連会社での実務経験を生かし、民間部門での事業展開を理解するための基本的事項及び地方における事業(主に中小企業の活動)の現状について解説する授業です。</p>	
授業スケジュール	
第1回	<p>テーマ(何を学ぶか): 事業論とは? 内 容: 私が事業論を講義する意味、皆さんが本講を受講する意義 教科書・指定図書 なし</p>
第2回	<p>テーマ(何を学ぶか): 世界の潮流を読む。ビジネスマンの情報取得 内 容: ① 未来をどのように捉えるか ② ビジネスマンの情報の取り方 教科書・指定図書 なし</p>
第3回	<p>テーマ(何を学ぶか): 「地域金融機関」と「地元中小企業」の関係 1 内 容: 事業者はどうやって必要なお金を調達するのか? 事業者と金融機関の関係性は、どのような変化を遂げてきたのか? 教科書・指定図書 なし</p>
第4回	<p>テーマ(何を学ぶか): 「地域金融機関」と「地元中小企業」の関係 2 内 容: 何が変わって何が変わらないことなのか? 地域金融業は、今や斜陽産業なのか? 教科書・指定図書 なし</p>
第5回	<p>テーマ(何を学ぶか): 課題を見つけ、解決する方法 内 容: ソリューションとは?コンサルティング業務とは何か? 教科書・指定図書 なし</p>
第6回	<p>テーマ(何を学ぶか): グローバルとローカルを正しく認識する 内 容: これからの地域経済を考える 教科書・指定図書 『なぜローカル経済から日本は甦るのか G と L の経済成長戦略』(富山和彦)</p>
第7回	<p>テーマ(何を学ぶか): 事業活動と地域振興を頭の中でリンクさせる 内 容: 地域経済の活性化について考える。 教科書・指定図書 なし</p>
試験	<p>期末試験を実施します。マークシート式と記述式の併用です。</p>